

## 戦後処理



### 先遣隊事務所

1947年(昭和22)頃(北谷町公文書館蔵)

上勢頭の大毛(ウフモー)に建設された先遣隊事務所。先遣隊は建築と農耕の2隊に編成されており、事務所はおもに住宅資材の収容と隊員の合宿所に使われていました。1947(昭和22)年2月5日、村民の移動を促進するため、村役所が越來村(現沖縄市)嘉間良から先遣隊事務所に移転してきます。

村民が帰村した直後は、米軍の配給食料と農耕隊が栽培した芋などを使って共同炊飯していました。

### 北谷村配車使用状況調

自1947年(昭和22)4月25日  
至5月25日(北谷町公文書館蔵)

移動の許可を受け、先遣隊による準備が整うと村民の移動が始まりました。

輸送は沖縄民政府工務部から派遣されたトラック数台を使用しました。移動は1947年(昭和22)2月25日に遠隔地の北部地域から行われました。

この文書では日ごとに移動した人や物資の数を報告していました。



### 家造り風景(戦後)

戦後の謝苜での棟上げの様子。

戦後の住宅建設は廃材を集めることから始められ、標準住宅(ヒョウジュンヤー、キカクヤー)と呼ばれるススキやチガヤで屋根を葺き、テント布を張って壁にした戦災復興住宅が建てられました。